

環境農林課の「薬草栽培」による農業所得向上及び地域活性化対策事業

平成27年度から障子岳農区で農地を守っていききたいとの考えで「法人化」を検討

(問題点)

- ・水稻のみで運営するのは難しい。(米価下落)
- ・現状の農業経営でも赤字。
- ・補助金の廃止(米の生産調整補助金は30年産から廃止)
- ・何か所得の上がる作物は？

(中山間部の問題点)

- ・担い手不足、高齢化による農地の荒廃化が懸念
- ・高齢者でも負担の少ない作物の検討
- ・価格変動が少なく付加価値の高い作物の模索

平成28年2月「薬草栽培」の政策を提案

・大学農学部、薬学部、研究所等と打合せ

・製薬会社へ国産材料の提案

- ・薬草の種子の入手ルート、栽培方法
- 販売先の模索

平成28年5月

「薬草」の試験栽培開始

平成28年4月

「化粧品原材料」の試験栽培開始

- ・ミシマサイコ、ヤマトウキの試験栽培を実施
(障子岳で2名栽培し、現在6名で勉強会実施中)
栽培面積は合計A=200㎡程度

- ・4種類の薬用作物を栽培着手
(障子岳で2名栽培中)
- ・ヒュウガトウキの商品開発検討

平成28年11月
薬草の試験栽培を全町に拡大するため
農区長会で提案

平成29年度
化粧品の原材料として納品

生産量の拡大及び取引先の模索

薬草及び化粧品材料のブランド化

化粧品分野の市場を開拓

平成30年3月
薬草を直接製薬会社もしくは問屋へ販売

特産品及び六次産業化の検討

化粧品の原材料の生産拡大

平成30年2月 宇美町薬用作物生産部会設立(7農区25名 栽培面積4,000㎡)

栽培面積拡大
栽培マニュアル
品質確保

農地の有効利用促進・農業所得向上・町の特産品開発

農業所得向上及び町の特産品として地域活性化